

# 「雪またじ」開始式が 行われました。

雪に見立てた発泡スチロールをかきたす生徒  
＝高山市下岡本町で



発泡スチロールで  
「雪またじ」開始式

高山・中山中

国道41号の歩道にスコップを置いてみんなで雪かきをする「雪またじ運動」の開始式が2日、高山市下岡本町の中山中学校であっ

た。

飛騨高山高（同市同町）の生徒の発案で、2009年度から実施。今年も41号の冬頭町南交差点から高山工業高前交差点までの34カ所にスコップを設置する。

運動を広げるため、3年前からは松倉中と中山中の生徒が隔年で開始式に参加している。今回は中山中と飛騨高山高の計11人が出席し、発泡スチロールを雪に見立ててスコップでかきたす作業を実演した。

中山中3年の鈴木心晴さん(14)は「高校生になってもスコップを置いて雪かきをしたい」。飛騨高山高1年の野口恭史郎さん(15)は「一人一人の行動が、大きなひとかきになる」と述べた。

(松沢侑香)